# 聴講の迷い方



#### 4月× 日

大学の授業ってあたりまえだけど、高校とは違うんだ。決まった教室に行って先生が入ってきてというような授業じゃないんだね。 聴講を取らなきゃならないみたいだ。

でも、聴講ってなに?ど うやって授業を受ければい いの?

# 何といってもこれを聴講したいという 意志決定をしないとね!

先生に相談する

けっきょくは、 教室に行くしかない 新歓などの 情報のあるところへ 参加

自分が何をとりたいか (意志決定) 聴講をきっかけに自分を中心とした大学内の情報を集める

自分の興味、関心を磨き、 仲間、先生、教務との関係 をつくっていく 仲間をつくる

困ったら、以下へ走れ

- ・各学部学務係
- ・教養教育第一、第二係

学務情報システム徹底 活用 パソコンがだめなら手書 き用のシートがある (OCR用シート)

でも更新作業を考え るとパソコンは必修

## どこでできるの?

## 【 学内 】

総合情報処理センター 附属図書館 (旭町分館を含む) 大学教育開発研究センター

(教養校舎)

各部局

(研究室を含む)

#### 【学外】

自宅、アパート その他

# 履修手続き、成績確認ができるインターネットを利用して、

## 何ができるの?

#### 履修申請・確認 成績確認

(この機能の利用は学内端末に限る) シラバスの閲覧

#### 学籍確認

(この機能の利用は学内端末に限る) 授業アンケートの回答 教員への面会予約 健康履歴の閲覧

(この機能の利用は学内端末に限る) 電子メールの送受信

掲示情報の閲覧

学生呼出、休・補講、各種掲示物(6月からは携帯電話Webからの利用も可) キャンパス生活情報の閲覧





学生編集委員は、教 務課、神田さんより ていねいに説明をし てもらった。

#### 注目!の履修申請



#### 授業担当教員に当該学期の聴講科目の許可申請を行う



(聴講許可申請の詳細情報画面)

まずは、何といってもこれを聴講したいという意志 決定をしていないと何にもならない。このシステムを 使ってシラバスの閲覧もできるが、だいたいシラバス は電話帳のような厚さがあるものだったのだ。ただ閲 覧していても何もならない。情報収集が必要だ。自分 の興味に照らし合わせてシラバスをざっと閲覧しよう。 これには、もしかしたら、厚いシラバスの本の方がい いかもしれない。そして、先輩、友人からの情報だ。サークルなどの新歓行事は、その情報集めにうってつけ。

> 許可申請期間 第一期 4月 5日~ 4月15日 第二期 9月17日~10月 7日



# 4月17日から5月7日の間に許可確認と、変更を行う



(聴講許可結果の画面)

許可確認は、申請してもすぐにはわからない。第一学期の許可確認ができるのは、4月17日から。ここからがたいへんだ。申請は誰でもできる。人気の講義は、落ちる可能性がある。一週間のコマ数は少ない。ここで第二、第三の取りたい講義を決めていないとどうなるだろうか。

許可確認が終わったら、変更を行う。満席になった 講義以外は、変更申請すれば自動的に許可となる。そ して気をつけなくてはならないのは、満席になった講 義にも他の学生が取り消しを行って空きがでることも ある。ここはチェックをマメにしておきたい。

> 許可確認期間 第一期 4月17日~ 5月 7日 第二期 10月 9日~10月29日

# 3

# やはり教室で、情報収集。そして人に相談しよう

どうだろう、インターネットを利用した履修申請をただ見ていると、ここで完結してしまいそうな気がしてしまうが、実はそうでもない。やはり聴講したい講義には、一回目から出なければならないし、聴講許可などの基準は先生に任されている。この講義を受けたいと思ったら、教室での情報収集は欠かせないのだ。また、先生への面会予約も学務情報システムの中にあるが、これも先生の設定によってできたりできなかったりするようなので、注意。そして、困ったら、各学部学務係、教養教育第一、第二係へ走ろう。

#### 私の履修の体験談

谷 謙治さん 教育人間科学部 3年



自分の授業での履修の体験 談を踏まえてアドバイスをし ておくと、まず、1限に授業 をとるのは、かなりの覚悟が いるということをわかってい てほしい。特に月曜の1限と もいうことになると、休みあ けということもあって、行く 気をなくす。また、木曜、金 曜の午後は取れる教養の授業 が少ないこともあってあまり お勧めはしない。金曜の午後 を休みにすると、そこから二 日と半日やすみになることに なるので結構得した気分にな れる。それから、聴講をとる ときに抽選などではずれてし まい思うように授業がとれな いこともあるだろう。そんな ときのために第二、第三の取 りたい授業をあらかじめ考え ておくのもいい。また、そん なときにもあきらめずに先生 に話してみるのも一つの手 だ。自分の熱意が通じれば意 外に履修を受け付けてくれる ことも多い。

そして、テストのみで評価 という授業もあるが、これは 少々リスクが高い。ただ、最 後に一回出てテストを受ける だけで単位が取れるというお いしいこともありうる。 ここ は、各自の判断だろう。文系 の人は苦手でも自然科学系の 授業はちゃんととっておこ う。最後に語学の話をしてお くと、語学というのは必修単 位でかならずとらなければな らない。しかし、その分、出 席重視となっている。英語が 苦手だとか言う人もあきらめ ずに出席はしておこう。出席 していれば、何とかなるもの だ。ちなみに私は語学を一年 のときに落とし、二年で痛い 目を見た一人だ。